



希望の広場

二本松市立小浜小学校
学校だより
第15号
2022.2.10

小浜っ子は、コロナ禍でも落ち着いて、楽しく生活しています。



業間や昼休みの時間、子どもたちは、短なわでなわとびをして楽しんでいます。コロナ禍のため、長なわを使った集団跳びや呼気が激しくなる活動はできませんが、子どもたちは、とても楽しそうです。少し慎ましやかに、小さな声で話したり、笑い合ったりする姿からは、普段の生活の充実ぶりがよく分かります。保護者の皆様には、不織布マスクの準備等、お手数をおかけしていますが、保護者の皆様の協力のもと、子どもたちは楽しく充実した学校生活を送っています。教職員一同、感染症対策に十分配慮しながら、今できる限りの教育活動を行ってまいりますので、ご理解とご協力の程、よろしくお願いいたします。

「百聞は一見にしかず」体験は、お子さんの貴重な財産です。



クリーンセンター見学（4年）



スキー教室（4～6年）



豆まき集会（全学年）

コロナ禍ではありますが、本校では、感染症対策を十分に行いながら、教科の見学学習や学校行事、児童会活動における体験的な学習を実施しています。

1月19日には、スキー教室を安達太良高原スキー場で実施することができました。当日は天候にも恵まれ、ゲレンデをほぼ貸切の状態、自然を体感しながら、充実した活動を実施することができました。

また、1月27日には、第4学年が、本宮市のクリーンセンターを見学してきました。ゴミの匂いや施設の大きさに驚きの声を上げながら、楽しく見学してきました。4学年社会科の学習で、ゴミ処理を見学しなければ、一生見聞きすることはないかもしれません。是非、見学で身に染みて感じた分別の大切さについて、家庭や学校で実践してほしいと願っています。

さらに、豆まき集会は、「オンライン」と「年男・年女による各学年教室を訪問しての豆まき」のハイブリット方式で実施しました。職員室では、こん棒をもった鬼が突然現れたり…。コロナ禍ではありますが、できる限りの活動を楽しんでいます。

お子さんの家庭学習の充実のお願い

小浜地区にある、安達東高校が統合され、令和5年度より「二本松実業高校」となり、現在の二本松工業高校の場所に開校されることになっています。他の高校も様々な改革が進んでいる状況です。そのような中、お子さんの将来を見据えて、自ら進路を選択できる学力を身に付けさせていくことがとても大切です。

お子さんの家庭学習について、保護者の皆様にも確認、助言をいただき、励ましていただければ幸いです。小さい頃から、宿題だけで終わらせず、自主学習する習慣を是非身に付けさせたいものです。

